

「良いとこ・知っとこ・美幌町!」



滝川 朗正 (たきかわ あきまさ)

札幌市出身29歳。札幌市役所勤務、世界一周放浪、札幌でインバウンド事業を経てオホーツク美幌町の地域おこし協力隊へ就任。観光×アウトドアで地域を盛り上げるべく活動中。冬はオオワシ、オジロワシの撮影のため早起きの日々。地域おこし協力隊卒業後はアウトドアガイドとして起業すべく勉強の日々を送っています。

【地域おこし協力隊になったきっかけ】

20代前半のときに世界一周の旅に出た際、世界中のローカルの人たちから温かいもてなしを受け、自分も生まれ育った北海道を世界中の人に知ってほしい、もてなしたいという想いを抱き札幌のゲストハウスでフロントスタッフとして働き始めました。当時はインバウンド客が毎年急増していたため、宿泊業だけではなく、来てくれたお客様に楽しんでもらうために「アクティビティ事業部」を立ち上げて札幌市内をよりディープに楽しんでもらうためのツアーを企画していました。

しかし2020年にコロナショックが始まり、せっかくやりがいを感じていた観光業を続けることが難しくなっていました。そんなときに見つけたのがオホーツク美幌町の地域おこし協力隊の募集でした。業務内容は「美幌町の自然を活かしたアウトドア体験プログラムを作ること」で、当時の仕事のスキルがそのまま活かせると思いました。また、美幌町のことを調べていくなかで空港や道東の自然スポットとのアクセスがとても良いことや市街地と自然の距離感がちょう

ど良いこと、といった美幌町の魅力にも惹かれ地域おこし協力隊として移住することを決めました。

【美幌町こんなところ】

美幌町は北海道オホーツク地域にあり、人口は約1万9千人程度。基幹産業は農業のとても美しい町です。都市機能は隣町の北見市が担ってくれているので買い物にも困らず、女満別空港が近いので首都圏とのアクセスも良好です。スーパーも4軒あり、とても住みやすい田舎だと思っています。知床、屈斜路湖、阿寒などいろいろな国立公園エリアに日帰りで行ける位置にあり、道東観光のハブになる可能性を秘めている町だと思います

【地域おこし協力隊としての活動・やりがい】

現在は前述したアウトドア体験プログラムの企画、実施をメインとしながら、観光地域づくりの活動をしています。

アウトドアでこれからの時期オススメしたい体験がふたつあります！ひとつめは美幌町に季節折々に訪れてくれる野鳥を観察しながら自然の中で時間を過ごすバードウォッチング体験です！美幌町では1年を通して約200種の野鳥が見られるとても野鳥観察に適した場所です。特に冬はオオワシやオジロワシといった美しく尊い猛禽類が身近に見られるバードウォッチングに最高の季節です！ふたつめは藻琴山という標高1,000mの素晴らしい山でのトレッキング体験です。屈斜路湖、知床連山といった道東を代表するスポットを眺めることができます。2月に入り流水がオホーツク海を埋め尽くす様子は圧巻です！標高が高いところからトレッキングを始められるので、手軽に本格登山気分を味わえるのもオススメポイントです（といっても



子は圧巻です！標高が高いところからトレッキングを始められるので、手軽に本格登山気分を味わえるのもオススメポイントです（といっても

冬山特有のリスクはあります。初心者の方は経験者やガイドと行くことをオススメします！）。

夏シーズンは使われていないスキー場をオールシーズン活用できるよう、マウンテンバイクのコースを作るということもしており、今後マウンテンバイクコースとして町民も町外からのゲストも楽しめるよう整備していきたいと思っています。



地域に元々ある自然資源をツアーとして可視化することでゲストに楽しんでもらうだけでなく、地元の方々に自分たちの地域の価値を再発見してもらうことができたときに、観光業を地方でやることの意義をすごく感じます。ただ、元々アウトドアガイドとしての経験があったわけではないので自分だけでは判断できないことも多く、他の地域のガイドさんを手伝いに行って勉強させてもらいながら試行錯誤の毎日です。ただ、それで「美幌の地域おこし協力隊なのに美幌に全然いないじゃないか」と思われぬように、SNSで自分が今何に取り組んでいるのかという情報発信や周囲とのコミュニケーションが不十分にならないように気をつけています。

観光地域づくりとしては、美幌町を含む三町村（美幌・津別・大空）で取り組んでいる屈斜路カルデラ外輪山トレイルの造成に関わらせていただいています。屈斜路カルデラの稜線から道東が一望できる素晴らしいトレイルで、



今まで通過型になってしまっていた地域の観光に滞在型の観光コンテンツを創出するべく関係

者一同で取り組んでいます。道東全体をロングトレイルで繋ぐという構想もあり、その中心に位置する美幌町のトレイルに世界中からトレイルハイカーが集まる

将来を楽しみにしています！

また、「BIHOROBASE」や「焚き火しNight」といった町民と町外の人



両方が参加できるイベントも企画・運営しています。町内外の「地域のために何かしたい、地域を盛り上げたい」という人たちを繋げることができ、そこで繋がった人たち同士で新しいチャレンジが生まれたり、自分たちの取り組みが波及しているのを感じられると、とてもやりがいを感じます。

【地方で観光事業をすること】

札幌でツアー業をしていたときは、北海道のいろいろな地域へその地域のベストシーズンだけお邪魔するようなスタイルでした。しかし、いろいろな地域に行くと、その地域の自然やインフラを守りながら、自分たちが責任もって関わっているフィールドをガイドする、そんなガイドさん達と沢山会いました。観光業界にはどちらも必要な存在だと思うのですが、私はいま後者のガイドを目指しています。

地方で観光業をするということは、それによって人を集めるということ自体が地域の抱える人口減少や少子高齢化という課題のダイレクトな解決策となるので、自分のためにがんばっていることでも結果として地域のためになることが多くなると思います。その結果として仕事で直接関係のある人だけでなく、直接関係のない人などいろいろな方に関心を持ってもらえたり、応援してもらえるのが地方で観光をがんばることの良さだと思います。

【これからのチャレンジ】

地域おこし協力隊卒業後は、ガイドとして起業したいと考えています。

そのためにはガイドの経験も知識もまだまだ不足していますが、周囲のみなさんの協力を仰ぎながら、引き続き研鑽^{けんさん}を重ねていきたいと思っています。

北海道の方でも道東に来たことがない方は多くおられると思います。ぜひ、道東旅行の際には美幌町を玄関口としてお楽しみいただければ幸いです。